

# 平成27年3月期 決算短信補足資料

◇ 平成27年3月期 連結業績の総括	P.2
◇ 平成27年3月期 セグメント情報	P.3
◇ 平成27年3月期 連結財政状態	P.4
◇ 平成27年3月期 連結業績のポイント	P.5
◇ 平成27年3月期 キャッシュ・フロー	P.6
◇ 平成28年3月期 次期の見通し	P.7
◇ 主力商品紹介	P.8

# 平成27年3月期 連結業績の総括

## ■売上高■

競合他社との販売競争激化などにより計画は下回ったものの、調理加工食品部門や食肉事業の売上高が堅調に推移したことから、前年同期比4.0%の増収。

## ■営業利益■

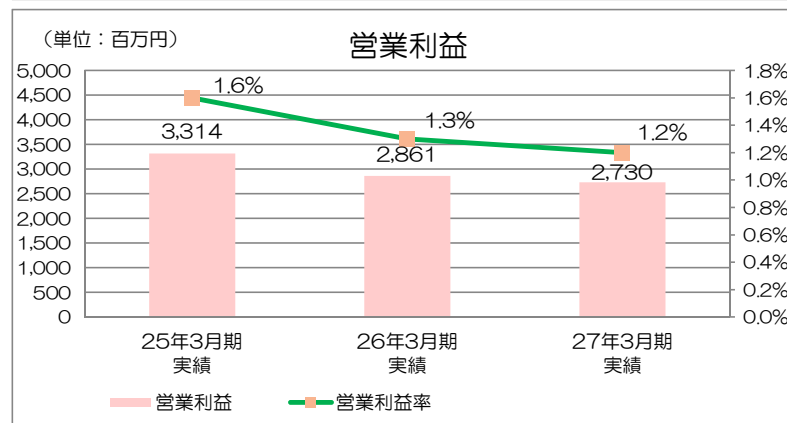
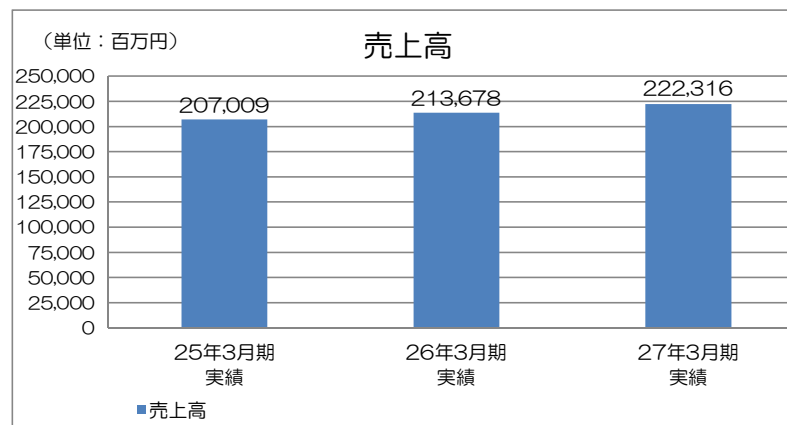
コスト削減に努めたものの原材料価格の高騰などにより、前年同期比△4.6%の減益。

## ■当期純利益・配当■

当期純利益は、前年同期比4.6%の増益。  
配当は、1株当たり7円を予定。

(単位：百万円)

	26年3月期 実績	27年3月期 計画	27年3月期				
			実績	対前年 増減額	対前年 増減率	対計画 増減額	対計画 増減率
売上高	213,678	223,000	222,316	8,637	4.0%	△ 683	△ 0.3%
営業利益 (売上高比率)	2,861 (1.3%)	3,800 (1.7%)	2,730 (1.2%)	△ 131 (△0.1%)	△ 4.6%	△ 1,069 (△0.5%)	△ 28.1%
経常利益 (売上高比率)	3,079 (1.4%)	4,100 (1.8%)	3,131 (1.4%)	52 (△0.0%)	1.7%	△ 968 (△0.4%)	△ 23.6%
当期純利益 (売上高比率)	1,726 (0.8%)	1,850 (0.8%)	1,805 (0.8%)	79 (0.0%)	4.6%	△ 44 (△0.0%)	△ 2.4%
1株当たり 当期純利益	13.29円	14.24円	13.89円	0.60円	-	△0.35円	-
1株配当	7円	7円	7円	-	-	-	-
配当性向 (%)	52.7%	-	50.4%	-	-	-	-



※計画：平成26年11月11日発表連結業績予想

# 平成27年3月期 セグメント情報

(単位:百万円)

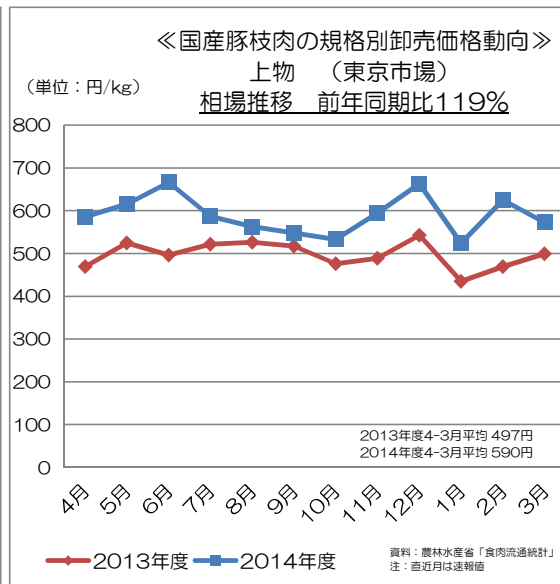
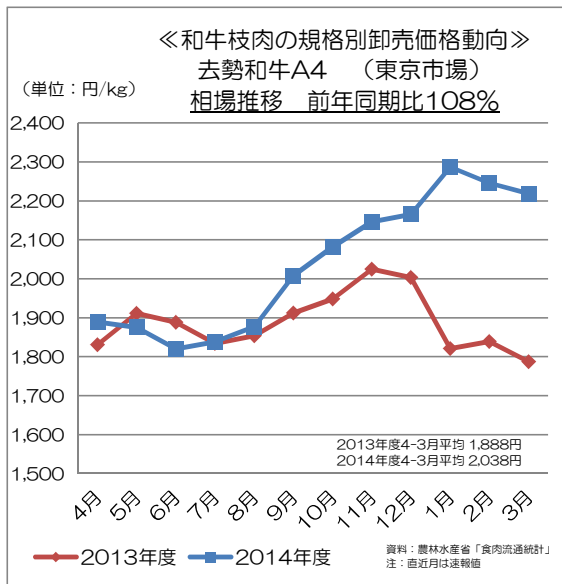
	26年3月期 実績	27年3月期 実績		
		対前年 増減額	対前年 増減率	
加工食品事業	150,193	156,952	6,758	4.5%
ハム・ソーセージ	89,540	91,267	1,726	1.9%
調理加工食品	60,652	65,684	5,032	8.3%
食肉事業	63,119	65,002	1,882	3.0%
その他	365	362	△3	△1.0%
売上高	213,678	222,316	8,637	4.0%
加工食品事業 (売上高比率)	2,599 (1.7%)	1,885 (1.2%)	△714 (△0.5%)	△27.5% -
食肉事業 (売上高比率)	61 (0.1%)	666 (1.0%)	604 (0.9%)	982.9% -
その他	200	178	△21	△10.8%
営業利益 (売上高比率)	2,861 (1.3%)	2,730 (1.2%)	△131 (△0.1%)	△4.6% -

## ■加工食品事業■

- ・ハム・ソーセージ部門は、発売20周年を迎えました「燻製屋 熟成あらびきウインナー」を中心に販売促進を実施し売上拡大に注力。また「うす塩」シリーズや「妖怪ウォッチ ウインナー」などの新商品を投入し積極的に拡販。中元・歳暮ギフトは、主力ブランド「王覇」などを中心に拡販。以上により、当部門の売上高は前年同期比1.9%の増収。
- ・調理加工食品部門は、韓国風チゲ「スンドゥブ」シリーズに「海鮮キムチ味」をラインナップに加え、また、「Soup BIZ (スープビズ)」などの新商品を投入し積極的な売上拡大に注力。「SWEET CAFE」、「TAPIOCA TIME」などデザート・飲料についても売上拡大に努め堅調に推移したことなどから、当部門の売上高は前年同期比8.3%の増収。

結果、当セグメントの売上高は前年同期比4.5%の増収。営業利益は、コスト削減に努めたものの原材料価格の高騰や競合他社との販売競争激化などから、前年同期比△27.5%の減益。

## 【資料：枝肉規格別卸売価格動向】



## ■食肉事業■

- ・牛肉は、相場が高値で推移する環境下において、米国産ブランド牛肉などを積極的に拡販。
- ・豚肉は、豚流行性下痢 (PED) の影響による供給減少や米国西海岸港湾労使問題による輸入減少などにより相場が高騰するなか、国産豚肉を販売強化。

結果、当セグメントの売上高は、前年同期比3.0%の増収。営業利益は、前年同期を大きく上回る666百万円。

# 平成27年3月期 連結財政状態

(単位:百万円)

	26年3月期 実績	27年3月期 実績	対前期末 増減額
現金及び預金	14,897	13,922	△ 974
売上債権	23,145	23,951	805
たな卸資産	13,661	17,033	3,371
その他の資産	1,860	1,729	△ 130
流動資産合計	53,566	56,637	3,071
有形固定資産	49,839	48,312	△ 1,527
無形固定資産	1,290	1,034	△ 255
投資その他の資産	15,997	17,923	1,925
固定資産合計	67,127	67,270	142
資産合計	120,693	123,908	3,214

	26年3月期 実績	27年3月期 実績	対前期末 増減額
仕入債務	19,547	21,071	1,524
有利子負債	18,620	17,454	△ 1,165
その他の負債	13,949	13,673	△ 275
負債合計	52,117	52,200	82
株主資本	66,416	68,394	1,978
その他の包括利益累計額	575	2,911	2,336
少数株主持分	1,585	402	△ 1,182
純資産合計	68,576	71,708	3,131
負債純資産合計	120,693	123,908	3,214

※有利子負債 = 借入金 + リース債務

## ■設備投資・減価償却費の状況

(単位:百万円)

	26年3月期 実績	27年3月期 実績	対前年 増減額
設備投資	4,967	4,336	△ 631
減価償却費	5,608	5,435	△ 173

(単位:百万円)

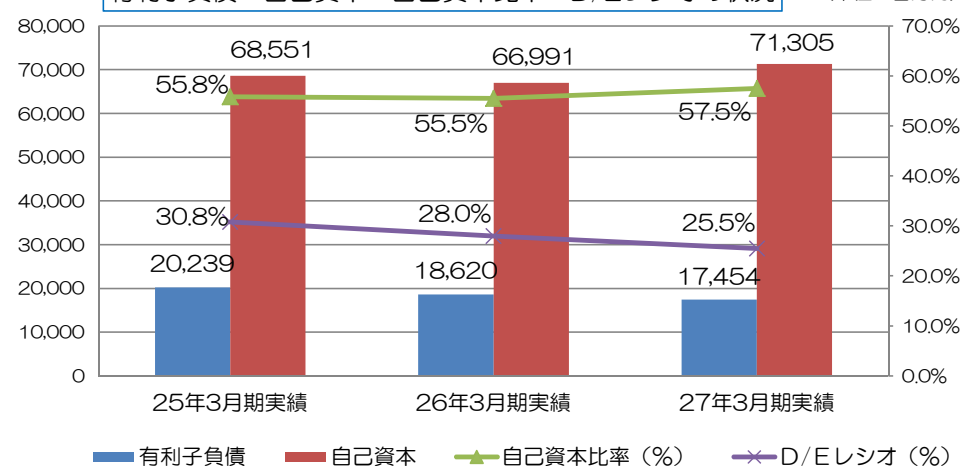
	26年3月期 実績	27年3月期 実績	対前年 増減額
自己資本	66,991	71,305	4,314
自己資本比率(%)	55.5%	57.5%	2.0%
D/Eレシオ(%)	28.0%	25.5%	△2.5%

※D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 株主資本

- ◆総資産は、たな卸資産が増加したことなどから、前期末比3,214百万円増加。
- ◆負債は、退職給付に係る負債が減少しましたが、仕入債務が増加したことなどから、前期末比82百万円増加。
- ◆純資産は、当期純利益の計上、その他有価証券評価差額金が増加したことなどから、前期末比3,131百万円増加。
- ◆以上の結果、自己資本比率は、前期末比2.0%上昇し、D/Eレシオは、2.5%低下。
- ◆設備投資は、前年同期比△631百万円減少の4,336百万円を実施。

有利子負債・自己資本・自己資本比率・D/Eレシオの状況

(単位:百万円)



# 平成27年3月期 連結業績のポイント

## 増 減 要 因

(単位:百万円)

	26年3月期 実績	27年3月期 実績	対前年	
			増減額	増減率
売上高	213,678	222,316	8,637	4.0%
売上総利益 (売上高比率)	49,690 (23.3%)	50,060 (22.5%)	369 (△0.8%)	0.7% -
販売費及び一般管理費 (売上高比率)	46,829 (21.9%)	47,329 (21.3%)	500 (△0.6%)	1.1% -
営業利益 (売上高比率)	2,861 (1.3%)	2,730 (1.2%)	△131 (△0.1%)	△4.6% -
営業外損益	217	401	184	-
営業外収益	883	983	100	-
営業外費用	666	582	△83	-
経常利益 (売上高比率)	3,079 (1.4%)	3,131 (1.4%)	52 (△0.0%)	1.7% -
特別損益	△39	244	283	-
特別利益	538	565	27	-
特別損失	577	321	△256	-
税金等調整前当期純利益	3,039	3,376	336	11.1%
法人税等合計	1,265	1,307	42	-
少数株主利益	48	262	214	-
当期純利益	1,726	1,805	79	4.6%

### ■売上総利益■

原材料価格の高騰の影響もありましたが、売上高増加などにより前年同期比0.7% (369百万円) の増益。  
売上総利益率は、22.5% (前年同期比△0.8%低下)。

### ■販売費及び一般管理費■

前年同期比1.1% (500百万円) 増加。  
対売上高比率は、21.3% (前年同期比△0.6%低下)。  
・売上高増加などに伴い配送費が前年同期比6.9% (1,518百万円) 増加。  
・その他は、経費削減努力により前年同期比△1.3% (△146百万円) 減少。

(単位:百万円)

	26年3月期	27年3月期	増減額
人件費	13,362	12,491	△871
配送費	22,139	23,658	1,518
その他	11,327	11,180	△146
合計	46,829	47,329	500

### ■営業外損益■

(単位:百万円)

	26年3月期	27年3月期	増減額
受取利息・配当金	308	307	△0
その他	575	675	100
営業外収益合計	883	983	100
支払利息	274	242	△31
その他	391	339	△52
営業外費用合計	666	582	△83

### ■特別損益■

(単位:百万円)

	26年3月期	27年3月期	増減額
固定資産処分益	77	529	452
投資有価証券売却益	460	36	△424
特別利益合計	538	565	27
固定資産処分損	136	184	48
減損損失	247	132	△115
投資有価証券評価損	11	3	△7
特別退職金	181	-	△181
特別損失合計	577	321	△256

## ■営業活動によるCF■

たな卸資産の増加などにより運転資金が増加しましたが、税金等調整前当期純利益の計上などから、5,609百万円増加。

## ■投資活動によるCF■

生産設備の増強・合理化、品質安定のための固定資産取得による支出などから、△3,853百万円減少。

## ■財務活動によるCF■

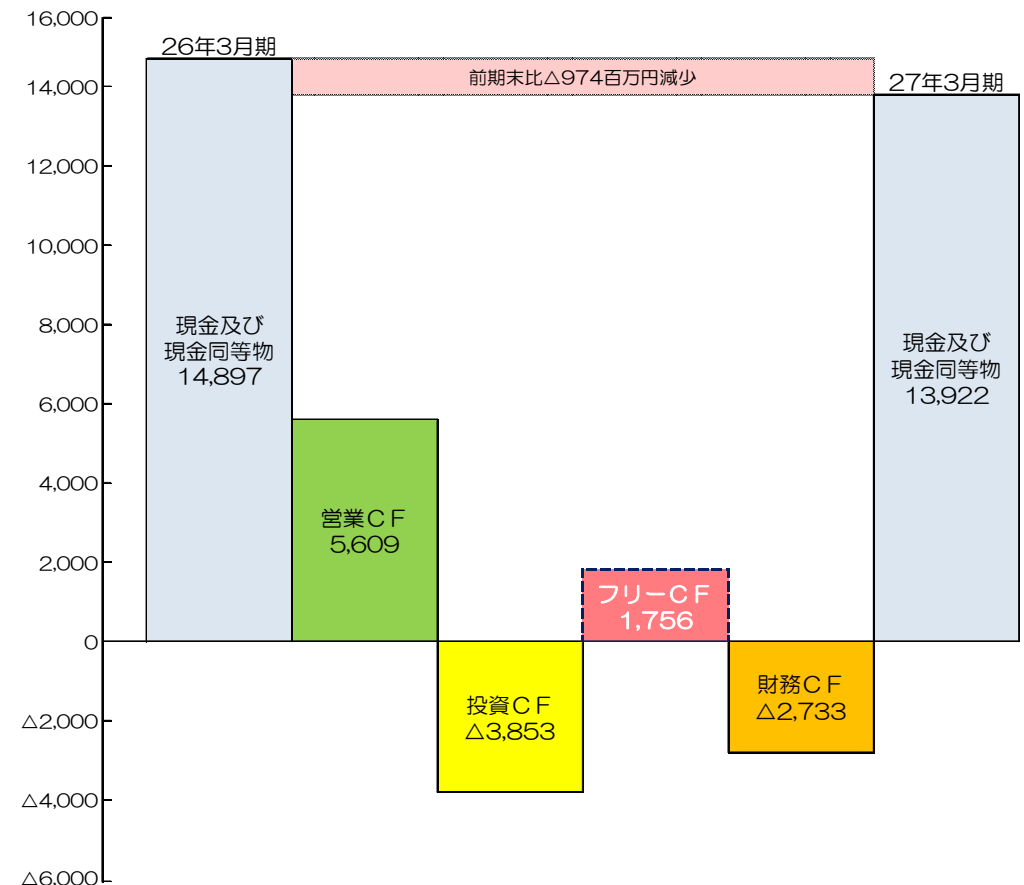
自己株式の処分による収入がありましたが、有利子負債の返済、配当金の支払いなどから、△2,733百万円減少。

	(単位:百万円)		
	26年3月期 実績	27年3月期 実績	対前年 増減額
営業活動によるCF	10,676	5,609	△ 5,066
投資活動によるCF	△ 3,035	△ 3,853	△ 817
フリー・キャッシュ・フロー	7,640	1,756	△ 5,883
財務活動によるCF	△ 3,573	△ 2,733	839
現金及び現金同等物の増減額	4,070	△ 974	△ 5,045
現金及び現金同等物残高	14,897	13,922	△ 974

## ■27年3月期キャッシュ・フロー主な内訳■

	(単位:百万円)		
	26年3月期 実績	27年3月期 実績	対前年 増減額
◆ 営業活動によるCF			
・税金等調整前当期純利益	3,039	3,376	336
・減価償却費	5,608	5,435	△ 173
・運転資金	2,197	△ 2,495	△ 4,693
・その他	△ 170	△ 706	△ 535
◆ 投資活動によるCF			
・固定資産の取得による支出	△ 4,717	△ 4,360	356
・固定資産の売却による収入	771	635	△ 135
・その他	910	△ 128	△ 1,039
◆ 財務活動によるCF			
・有利子負債増減	△ 2,509	△ 1,454	1,054
・配当金の支払額	△ 1,039	△ 910	128
・その他	△ 25	△ 368	△ 343

(単位:百万円)



※フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

# 平成28年3月期 次期の見通し

## 連結通期見通し

### ■通期見通し■

(単位:百万円)

	27年3月期 実績	28年3月期 計画		
		対前年 増減額	対前年 増減率	
売上高	222,316	229,000	6,683	3.0%
営業利益 (売上高比率)	2,730 (1.2%)	3,100 (1.4%)	369 (0.2%)	13.5%
経常利益 (売上高比率)	3,131 (1.4%)	3,500 (1.5%)	368 (0.1%)	11.8%
親会社株主に帰属する当期純利益 (売上高比率)	1,805 (0.8%)	2,000 (0.9%)	194 (0.1%)	10.8%
1株当たり 当期純利益	13.89円	15.10円	1.21円	-
1株配当	7円	7円	-	-

### ■セグメント別 売上高、営業利益見通し■

(単位:百万円)

	27年3月期 実績	28年3月期 計画		
		対前年 増減額	対前年 増減率	
加工食品事業	156,952	163,000	6,047	3.9%
食肉事業	65,002	65,600	597	0.9%
その他	362	400	37	10.5%
売上高	222,316	229,000	6,683	3.0%
加工食品事業 (売上高比率)	1,885 (1.2%)	2,190 (1.3%)	304 (0.1%)	16.1%
食肉事業 (売上高比率)	666 (1.0%)	730 (1.1%)	63 (0.1%)	9.6%
その他	178	180	1	0.6%
営業利益 (売上高比率)	2,730 (1.2%)	3,100 (1.4%)	369 (0.2%)	13.5%

(注) この資料に記述されている計画数値は本資料の発表現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって計画数値と異なる場合があります。

景気は緩やかに回復傾向が続くと予想されます。また、原材料価格は落ち着きを見せつつありますが、消費者マインドに弱さが見られることや、競合他社との販売競争が激化するなど、当社グループを取り巻く事業環境は、厳しい状況が続くものと思われまます。

#### ■加工食品事業■

- ・積極的な販売活動や業容拡大に努め、グループ全体としてのシナジー効果を生み出せるようグループ経営の強化を図ります。

次期の業績につきましては、

売上高 1,630億円 (前年同期比3.9%増)

営業利益 21億90百万円 (前年同期比16.1%増)

を計画しております。

#### ■食肉事業■

- ・安全で高品質なものを厳選し、素材の特徴を生かした商品を新鮮な状態でお届けし、また、食肉全般の需給動向を的確に捉え、お客様のニーズに合致した食肉販売の推進により、売上の拡大に取り組んでまいります。

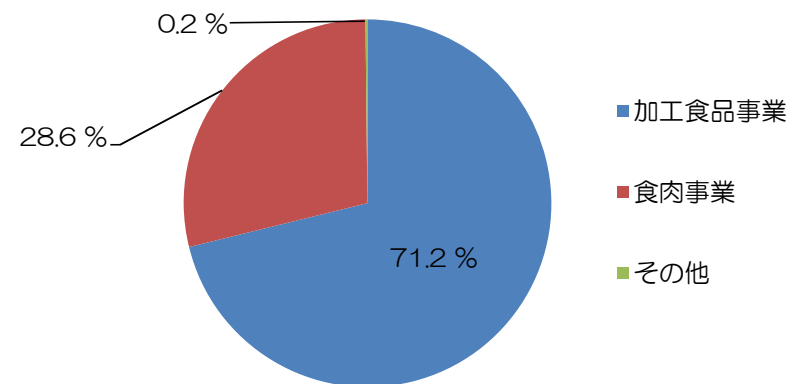
次期の業績につきましては、

売上高 656億円 (前年同期比0.9%増)

営業利益 7億30百万円 (前年同期比9.6%増)

を計画しております。

### セグメント別売上高構成比見通し







加工食品

調理加工食品部門



©L5/YWP・TX



# 丸大食品

本資料の記載内容には、将来に関する計画や戦略、業績の見通しの記述が含まれています。これらの記述は現時点で把握可能な情報等から得られた当社の判断に基づいております。また、これらの見通しには潜在的なリスクや不確実な要素などの要因が含まれており、実際の成果や業績は、記載の見通しとは異なる可能性があります。